



よこ やま あつ こ  
**横山敦子**

こうめいとう きいんだん  
**公明党議員団**

## 放課後児童の安心の居場所の現状と課題は

**問** 具体事例から、3月下旬になっても支援を要する放課後の子どもの居場所がないとあちらこちらのクラブに直接交渉にあたる保護者の思いは、津市が抱える放課後の子どもの居場所の大変重要な課題である。もっと早い段階で、放課後児童クラブや放課後デイサービスにつなぐことができなかつたのか。

また、子どもの発達支援の連続性を保障するための課題は。

**答** 放課後児童クラブの利用児童の受け入れについては、保護者等の運営委員会と情報共有を図り、関係機関と連携しながら、より早い時期に児童の受け入れ状況を把握し、対応できる仕組みを整えていく。

子どもの発達支援として、学校と放課後等デイサービス事業所との間で、年間計画や行事予定等の情報共有は行っているが、特別支援教育コーディネーター等から放課後等デイサービス管理責任者への個別の教育支援計画等についての情報提供など、より進んだ連携は十分ではない。今後、学校と事業所が連携して、途切れのない指導支援ができるよう、指導主事の訪問等を活用し、各学校において、放課後等デイサービスの趣旨や具体策について指導していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 放課後児童クラブの待機児童の現状と課題について
- 学校と放課後デイサービス事業者等の福祉機関との連携は
- 津市児童発達支援の専門的総合窓口と体制を明確に
- 津市子ども子育て総合相談窓口の役割と体制は
- 津市の住宅・住環境をめぐる現状調査・分析は など



▲途切れのない発達支援の推進を



は せ がわ ゆき こ  
**長谷川幸子**

にほんきょうさんとう つしぎだん  
**日本共産党津市議団**

## 津市におけるひきこもりの実態と対応策は

**問** 社会とのかかわりをほとんど持たなくなっている若者（15～39歳）のひきこもりは、内閣府調査では70万人と推測されている。

ひきこもりに対する周りの無理解や偏見が当事者たちを苦しめているケースもあり、この問題は本人・家族そして社会にとっても大きな損失である。

正しい知識を持ち、社会全体で支援の輪を広げていく対策は。

**答** 津市においては、ひきこもりに対して特化した支援を行う施策ではないが、津市障がい者相談支援センターに家族のひきこもりに関する相談があった場合、相談員が家庭訪問をしたりして、何度か面談を行いながら適切なサービスの利用につなげるなどの支援を行っている。

その中で、統合失調症などの要因によりひきこもりとなり、専門的な支援が必要と思われる場合には、より適切な支援が受けられるよう、三重県ひきこもり地域支援センターや専門医療機関へつなぐなど、各種支援機関と連携し、情報共有を行いながら対応していく。



### ●その他の質疑・質問●

- 利用しやすい公民館・市民センターづくりをめざして
  - 利用者の駐車料金を無料に
  - 若者向け講座の充実を
  - 2階以上の施設にエレベーターの設置を
- 市営住宅の入居申し込みの簡素化と随時募集のPRの徹底を
- 交通事故から命を守る取組
  - 小中学生のヘルメット着用の徹底を など



▲交通事故から命を守るため、ヘルメット着用の徹底を